

グラフ

No. 586 GRAPH FUKUOKA

ふくおか

2017
SPRING

春

特集

祝！ユネスコ無形文化遺産登録

受け継がれてきた 『山・鉾・屋台行事』

福岡海街紀行

豊穰の海 有明海



- 03 特集
祝！ユネスコ無形文化遺産登録
受け継がれてきた
『山・鉾・屋台行事』
- 08 知事のふるさと訪問
筑前町
那珂川町
太宰府市
- 14 人づくりは未来づくり
海外での学びを
地域に生かそう！
- 16 きらめきマイタウン
広川町
- 22 福岡海街紀行
豊穰の海 有明海
- 26 平成28年度福岡県政の動き
- 28 県議会だより

紙
紹介



有明海のノリ養殖

栄養豊富な海に育つ上質なノリ

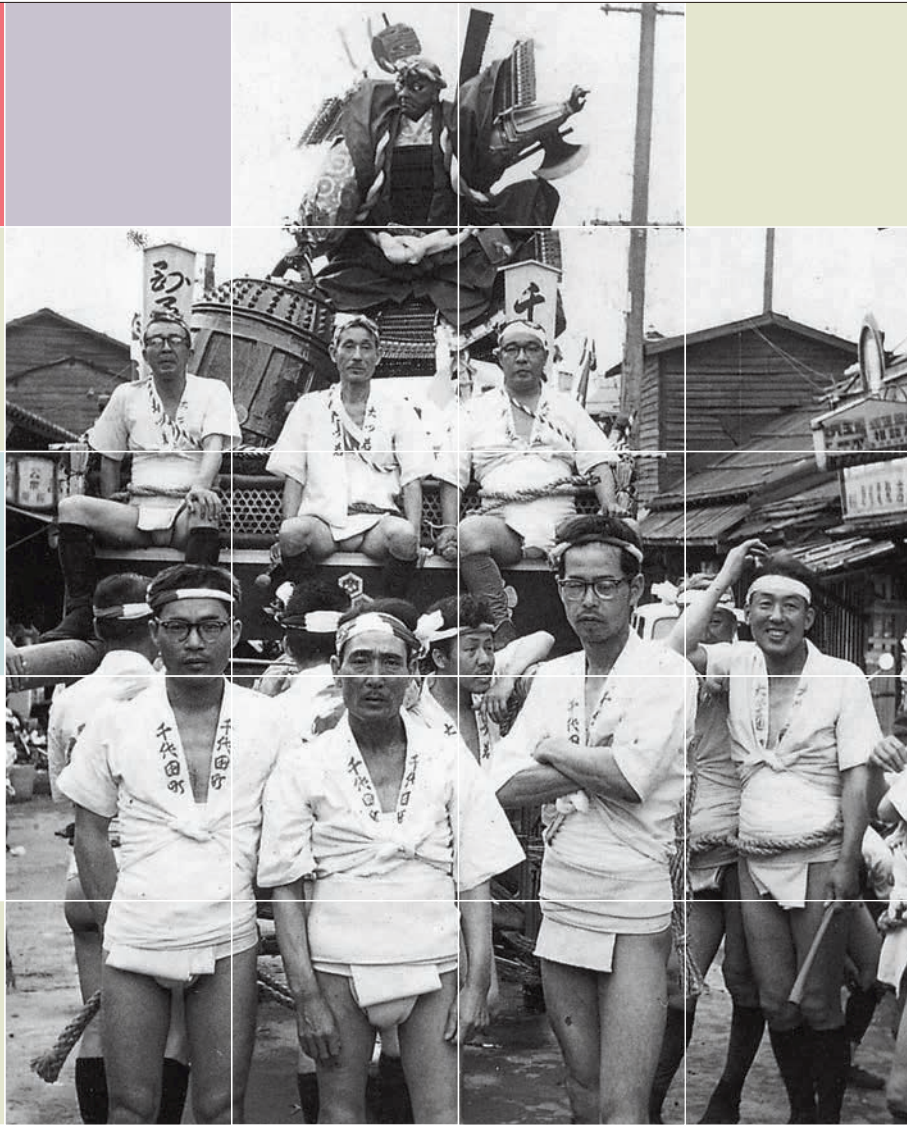
有明海は筑後川や矢部川をはじめ多くの川から栄養分たっぷりの水が流れ込む豊かな漁場です。干満差が最大6メートルにも達するため、広大な干潟が広がり、ムツゴロウ、ワラスボなどの特産種が息息するほか、アサリなど貝類の漁場としても知られています。また、秋から春にかけてはノリ養殖が行われ、その生産量は全国有数。ノリ養殖に適した環境を生かし、若手生産者を中心に、さらなる生産の安定と品質向上を図っています。

■ 関連記事22ページへ

特集

受け継がれてきた

『山・鉾・屋台行事』



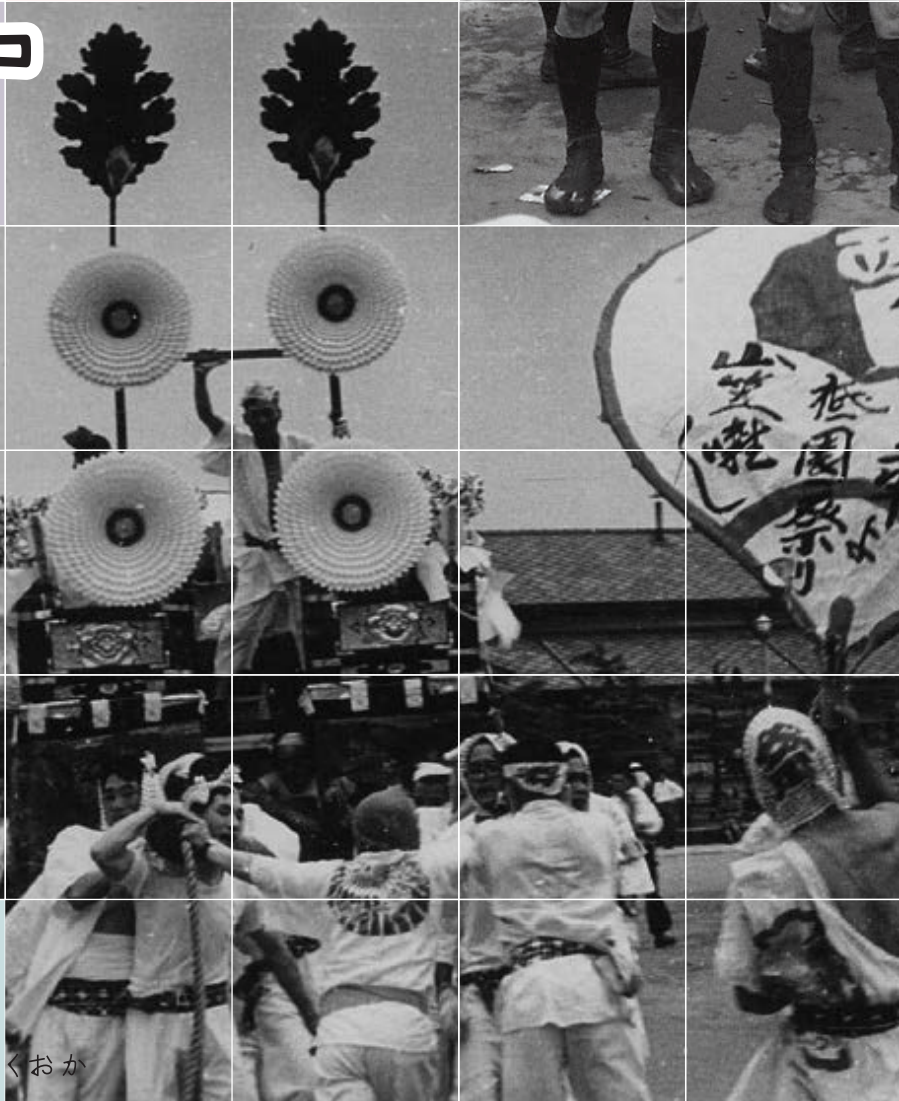
祝！ユネスコ無形文化遺産登録

福岡県には、地域で大切に継承されてきた祭りが数多くあります。昨年、ユネスコ無形文化遺産に登録された

「博多祇園山笠行事」「戸畑祇園大山笠行事」は、人々の交流と絆を深め、地域の維持に貢献していることが高く評価されました。

世代を超えて受け継がれる魅力とは何か。

それぞれの祭りに携わる方々の思いを通してご紹介します。



受け継がれてきた
『山・鉦・屋台行事』

「今の、そして先の世代の子どもたちが大山笠を見て成長し、自分も参加したいと自然に感じてもらうことが大切」と後藤さん。数世代にわたり参加してきた林清助さんも「時代が変わっても、地域みんなで伝統や絆を守り継いできた。それがユネスコ無形文化遺産登録につながったと思う」と話します。

地域に活気と
感動をもたらす
博多っ子の「意気」。

聖

「一國師が、1241年疫病退散を祈願したことが起源とされる博多祇園山笠。7月になると福岡市内各所に公開される優美な「飾り山笠」と、「昇き山笠」を担ぐ博多の男たちの躍動する姿で、博多の街は祭一色となり「活気」に満ちあふれます。博多祇園山笠振興会・豊田侃也会長は博多祇園山笠行事が受け継がれる理由を全員心が一つになる「息が合う」と気概の「意気」という言葉で表現します。「昇き棒」は表は少し高く、見送りは少し低くなっているため、背丈や筋力が違っても「昇き手」は自分に合った位置で力を発揮できる。それが皆で息を合わせ無事に回り止めを駆け抜けた瞬間の喜びにつながるんです」。

昇き山を釘一本使わず組み上げる技を継承する山大工、博多祇園山笠振興会・名越正志副会長も、今回の登録決定を受けたときの心境を、「長老から子ども、女性たちまで、地域が一丸となって先達から守り継いできた伝統を次世代に受け継ぎたい」という思いを強くしたと振り返ります。

これからも世界が認めた博多っ子の粋な心意気で人々に感動を与え、熱く走り続けます。

次世代へ
守り受け継ぐ
伝統の心と技。

戸

畑の夏を彩る戸畑祇園大山笠。昼に12本の大旗を立て練り歩く「幟大山笠」が、夜には「提灯大山笠」へと姿を変える全国でも珍しい祭りです。戸畑祇園大山笠振興会の後藤雅秀会長は「幟大山笠の飾り物を外した台座に309個の提灯が一気に組み上がる様子は他の祭りにはない見どころの一つ」と話します。

武者絵などの刺繍を施した絢爛豪華な幕類は、幟大山笠全体に典雅な雰囲気を感じます。また、笛、鉦、太鼓、銅拍子などを使って演奏される「戸畑祇園囃子」も、次の世代へ大切に受け継がれています。行事の一週間前には「戸畑祇園ばやし研究競演会」が開催され、地域の年配者から指導を受けた小学生がお囃子を披露します。



博多祇園
山笠行事

200余年の歴史を持つ北九州市戸畑区の伝統行事。祭りの期間は毎年7月第4土曜日を中日とする3日間で、中日に開催される大山笠競演会では4つの大山笠(東、西、中原、天籟寺)が一堂に会する

祭りのクライマックスでもある7月15日早朝の追い山では昇き山が、次々と博多の街を疾走。走る飾り山と呼ばれる上川端流でフィナーレを迎える

お話を伺った方々



菅原神社天籟寺大山笠宿
総代会長
林清助さん

「地元の人と新しく地域に仲間入りした人の絆を深める役割も担ってきた」という大山笠。世界に注目される祭りになることを願って、「ぜひ多くの人に見に来てほしい」と林清助さん



戸畑祇園大山笠振興会
会長
後藤雅秀さん

「今回の登録は先人たちの努力のおかげ」と後藤雅秀さん。「戸畑の誇りとして後々の世代まで引き継いでいくとともに、提灯の明かりが北九州を明るく照らし、市の活性化にもつながれば」と話す

お話を伺った方々



博多祇園山笠振興会 副会長
山大工
名越正志さん

「山があるから、今の自分がある」と、名越正志さん。「昇き手の疾走が『動』の魅力とすれば、人形師や山大工といった匠の技が結集した山は『静』の魅力。じっくり鑑賞してほしい」



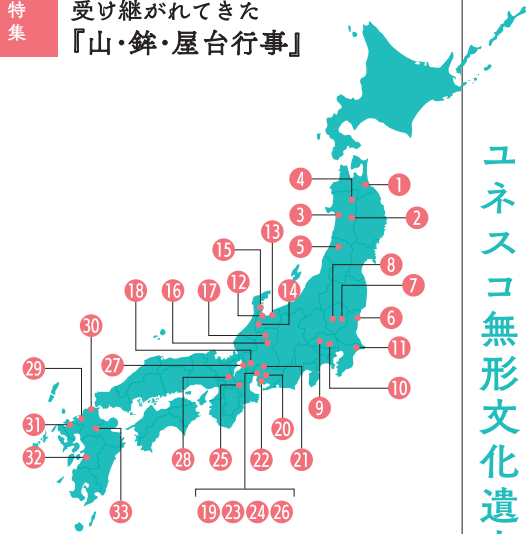
博多祇園山笠振興会
会長
豊田侃也さん

豊田侃也さんが、1950年発足の千代流に参加したのは5歳のとき。無形文化遺産登録の知らせを受けたときは「追い山の一番太鼓を耳にしたときと同じくらの凜とした心持ちだった」



宮崎宮参道先にある箱崎浜で7月1日は当番町のみが、9日は全流が行う清めの神事「お汐取り」

受け継がれてきた
『山・鉾・屋台行事』



ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」全国分布図

- 1 八戸三社大祭の山車行事
／青森県 八戸市
- 2 角館祭りのやま行事／秋田県 仙北市
- 3 土崎神明社祭の曳山行事
／秋田県 秋田市
- 4 花輪祭の屋台行事／秋田県 鹿角市
- 5 新庄まつりの山車行事
／山形県 新庄市
- 6 日立風流物／茨城県 日立市
- 7 烏山の山あげ行事
／栃木県 那須烏山市
- 8 鹿沼今宮神社祭の屋台行事
／栃木県 鹿沼市
- 9 秩父祭の屋台行事と神楽
／埼玉県 秩父市
- 10 川越氷川祭の山車行事
／埼玉県 川越市
- 11 佐原の山車行事／千葉県 香取市
- 12 高岡御車山祭の御車山行事
／富山県 高岡市
- 13 魚津のタテモン行事
／富山県 魚津市
- 14 城端神明宮祭の曳山行事
／富山県 南砺市
- 15 青柏祭の曳山行事／石川県 七尾市
- 16 高山祭の屋台行事／岐阜県 高山市
- 17 古川祭の起し太鼓・屋台行事
／岐阜県 飛騨市
- 18 大垣祭の軸行事／岐阜県 大垣市
- 19 尾張津島天王祭の車楽舟行事
／愛知県 津島市・愛西市
- 20 知立の山車文楽とからくり
／愛知県 知立市
- 21 犬山祭の車山行事／愛知県 犬山市
- 22 亀崎潮干祭の山車行事
／愛知県 半田市
- 23 須成祭の車楽船行事と神護流し
／愛知県 蟹江町
- 24 鳥出神社の鯨船行事
／三重県 四日市市
- 25 上野天神祭のダンジリ行事
／三重県 伊賀市
- 26 桑名石取祭の祭車行事／三重県 桑名市
- 27 長浜曳山祭の曳山行事
／滋賀県 長浜市
- 28 京都祇園祭の山鉾行事／京都府 京都市
- 29 博多祇園山笠行事／福岡県 福岡市
- 30 戸畑祇園大山笠行事／福岡県 北九州市
- 31 唐津くんちの曳山行事／佐賀県 唐津市
- 32 八代妙見祭の神幸行事／熊本県 八代市
- 33 日田祇園の曳山行事／大分県 日田市

けんちよう
建長6(1254)年、この地域に流行った悪疫が平癒したお礼として行われるようになったとされています。現在は今井西町の曳山1基のみですが、巡行に際して連歌が奉納されることが特徴的です。



所在地：行橋市
実施日：7月中旬～8月初旬
保護団体：今井西祇園会

D
今井祇園行事

いまい ぎ おんぎょうじ

うはら じんこう
宇原神社の神幸行事の一環とされており、室町時代には既に行われていたといわれます。山笠が激しくぶつかり合う「喧嘩山笠」としても知られます。期間中、山の姿が「灯山」、「幟山」、「岩山」と三変化します。



所在地：京都府 苅田町
実施日：9月下旬～10月初旬
保護団体：苅田山笠保存振興会

E
苅田山笠

かん だ やまかさ

江戸時代中期に現在の姿になっていたと考えられ、2基の曳山と6基の昇山が巡行します。中央に大ダシ・小ダシと呼ばれる15～20メートルほどの柱を立て、鳥毛や御幣を取り付けて依代としています。



所在地：京都府 みやこ町
実施日：5月第2日曜日を最終日とする3日間
保護団体：生立八幡宮山笠保存会

F
生立八幡神社山笠

おいたつ はちまんじんじやまかさ

約400年の歴史を持つといわれ、春日神社、岡田神社、一宮神社の御神幸として行われます。お汐井取りは台座に筐を載せた笹山笠で巡行し、その後、華やかな人形飾笠に衣更えします。



所在地：北九州市八幡西区
実施日：7月第4金曜日を初日とする4日間
保護団体：黒崎祇園山笠保存会

A
黒崎祇園行事

くろさき おんぎょうじ

えいろく
永禄年間(1558～1570年)に、地域で流行った悪疫が平癒したお礼として山笠を奉納したのが始まりといわれます。五色のパレンで飾り立てた幟山笠が、彦山川を渡って御旅所に向かいます。福岡県五大祭のひとつ。



所在地：田川市
実施日：5月第3土曜日を初日とする2日間
保護団体：川渡り神幸祭山笠保存会

B
風治八幡神社川渡り行事

ふうじ はちまんじんじやかわたりぎょうじ

ぶんせい
文政9(1826)年、三柱神社の御遷座祭を祝うために奉納されたのが始まりとされます。江戸の神田ばやし、京都祇園の山鉾を参考にしたといわれ、山車の上で舞と囃子を披露しながら練り歩きます。



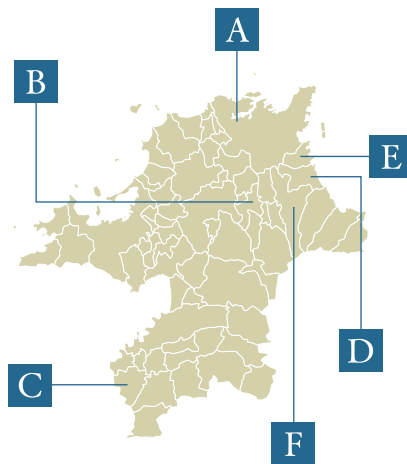
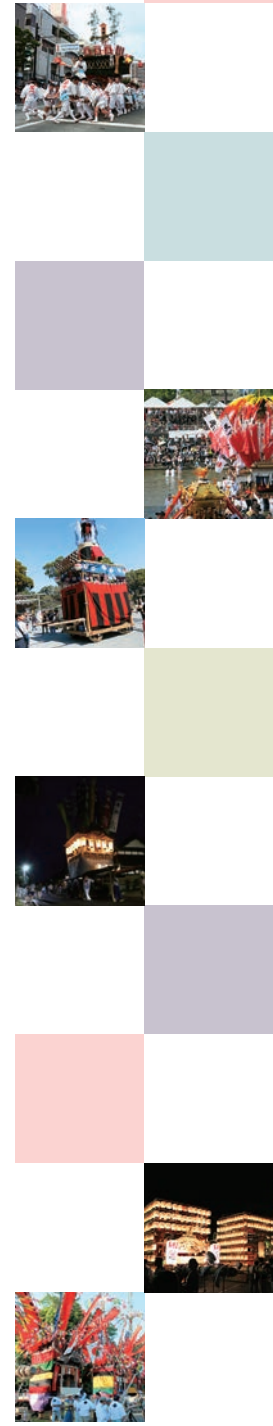
所在地：柳川市
実施日：10月第2土曜日を初日とする3日間
保護団体：柳川どろつくどん保存会

C
どろつくどん

どろつくどん

福岡県の山・鉾・屋台行事

その他にも県内には伝統的な祭が行われています。こちらではその一部をご紹介します。



筑前町多目的運動公園



子どもからお年寄りまで楽しめる多目的運動公園。パークゴルフ場やナイター設備が整った野球場などを備える



充実した大型遊具がそろった「こども広場」。芝生も広く、草スキーや駆けっこもできる



同公園で活動する筑前町体育協会パークゴルフ部の皆さんと。あらゆる世代が気軽にプレイできるパークゴルフは、地域コミュニティの活性化につながっている

筑前町立大刀洗平和記念館



かつて東洋一と謳われた大刀洗飛行場があった筑前町。記念館では、命の尊さ、平和の大切さを語り継ぐために、世界で唯一現存する零式艦上戦闘機三二型や、特攻隊員が遺した言葉など、多くの戦時資料を展示している



この日は地元中学生が館内の展示について知事に説明。博多湾から引き揚げられた九七式戦闘機について英語で紹介する場面も



ボランティアガイドや地域おこし協力隊の皆さんと懇談。同館では朗読講演や絵手紙展などさまざまなイベントを通して平和への思いをつないでいる

団体紹介



筑前町立大刀洗平和記念館 中学生ボランティアガイドの 皆さん

町内の中学生によるボランティアガイド。昨年夏、自ら応募集まった5人が、手づくりのボードなどを使った分かりやすい説明で来館者にガイドを行った。夏休み限定の企画であったが、自分の言葉で語り掛ける熱心な姿が好評を博し、昨年11月に再び活動を行った



「皆さんの活動が地域の大きな力や成果となるように、ぜひ後に続く人たちに自身の実験を伝えていってください」と知事



「筑前町食生活改善推進委員会」会長の小澤純子さん。塩分の少ないレシピの紹介や出張講座などの啓発活動を行い、町民の食生活の改善に取り組む

安の里公園



「食と農」をテーマにした町の一大イベント「ど〜んとかかし祭」のために制作された「ゴジラ」の巨大わらがし。制作には町民ボランティア約200人が参加し、県内外から約11万人もの人々が見学を訪れた ※「ゴジラ」の展示は終了

©TOHO CO., LTD.

町の愛好家による「日向ひよっこ踊り」で歓迎を受けた



ファーマーズマーケットみなみの里



地元食材の手料理をビュッフェ形式で楽しむことができる農村レストラン。おかわり自由のかまど炊きご飯や筑前煮が人気



直売所では、日本一の大きさを誇る品種「愛宕梨」を試食。生育・販売状況の説明を受けた



筑前町のお米を使った米粉パンは、直売所の看板商品。食パンをはじめ、あんパン、メロンパン、総菜パンなど種類も豊富

地域で 頑張る皆さん

対話

小川知事



女性農村アドバイザーの品川裕美さん。自身が考案した筑前クロダマルを使ったドレッシングは人気商品で、地域の食の活性化に貢献している



イタリアで農業と出会い、農家となった林寛輔さん。大豆の生産や加工品開発を行う。農家民泊など「農」を通したライフスタイルも提案



走るお母さんランナーの植木千穂枝さん。昨年11月の市町村対抗「福岡駅伝」では町の代表として出場し、筑前町を町村の部1位に導いた



「筑前若者会」実行委員長の松本龍彦さん。巨大わらがし制作や鉄塔イルミネーションなど多くの企画に取り組み、町を盛り上げている

まご ぐち げつ じょう
松口月城記念館



那珂川町に生まれた月城は開業医として地域の医療に貢献する傍ら、漢詩や書道などの分野でも才能を発揮。館内には貴重な資料や書画などが展示されている



月城は吟詠漢詩家としても全国的に知られ、生涯で1万数千首に及ぶ漢詩を作ったとされる



月城の代表作である「名檀日本号」の詩の前で

博多南駅前ビル



JR博多南駅と直結した博多南駅前ビル。町民情報ステーションや会議室、パスターミナルなどがあり、町の玄関口としての役割を担う



町のオリジナルメニュー「なかがわタコス」も登場。町内の飲食店などで提供されており、那珂川町の食材を使ったバラエティーに富んだ味が魅力

ビル内では、空きスペースを活用してイベントやワークショップが催され、町の交流拠点となっている。この日行われていたのはベテランの革職人によるレザークラフト講座

団体紹介



ことば那珂川

町からの委託を受けて活動するまちづくりオフィス。博多南駅前ビルを拠点に、町の魅力発信やイベントの開催、コミュニティの場づくりなど、駅や駅前周辺のにぎわいづくりに取り組む。現在、駅前ビルのリノベーションに向けた住民参加のワークショップなどにも力を入れている

那珂川町複合児童福祉施設 ふれあいこども館

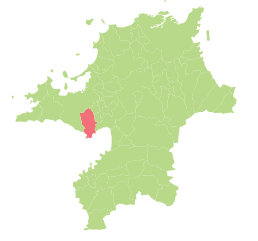


利用者の皆さんと。子育て支援センターと児童館の機能を兼ね備えた同館は那珂川町の子育て支援の拠点となっている



就学前の子どもと保護者が参加する「すくすく広場」。手遊びや工作などさまざまなプログラムが用意されている

小川知事は、人口が5万人を超え、平成30年10月の市制施行を目指す那珂川町を訪れました。



なかがわまち
那珂川町

平成29年1月31日



この日行われていたプログラムに知事も飛び入り参加。子どもたちと一緒にゲームを楽しんだ

株式会社マルサン醤油醸造元



1910(明治43)年創業のマルサン醤油。那珂川町のきれいな水が醤油づくりの源となっている



店内には、醤油、味噌、つゆ、たれのほか、地元農産物や手作りパンなど豊富な商品が並び



豆腐と相性抜群のドレッシングや大根おろしポン酢など、4代目である勝野光代さんがお母さん目線で開発したオリジナル商品も人気



「子育て支援や移住定住促進への取り組み、市制施行へ向けた町の皆さんの努力に改めて敬意を表したい」と知事



地域おこし協力隊の長尾牧子さん。自然豊かな南畑地区のまちおこし組織「南畑ぼうぶら会議」の活動をサポートし、同地区を活性化している



「NPO法人 絆・なかがわ」代表理事の森千春さん。小中学校児童・生徒指導支援員としての活動や子どもの居場所づくりなど青少年支援に取り組む



「ふれあいこども館」副館長の井口セツ子さん。地域ぐるみでの子どもの見守りや親へのサポートが「子育てしやすい町」につながっていると語る



「株式会社マルサン醤油醸造元」4代目の勝野光代さん。子育てと仕事を両立し、商品開発やネット販売による販路拡大に取り組む



「ことば那珂川」ディレクターの坂口麻衣子さん。博多南駅前ビルの活性化のため、自立した運営が可能となる仕組みづくりに取り組む

地域で
頑張る皆さん

対話

小川知事

太宰府天満宮



太宰府天満宮の由来や歴史について説明を受ける知事。「学問・至誠・厄除けの神様」として天神様(菅原道真)を祀るこの場所には年間800万人の参拝客が訪れている

万葉集にも歌われた太宰府の梅の花。福岡県の花として広く県民に親しまれている

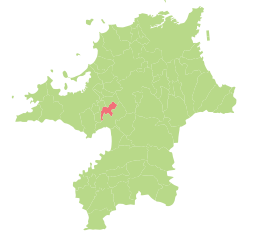


観世音寺



宝蔵には平安・鎌倉時代の仏像16体が収められている。最も大きな木造馬頭観音立像は像高約5m

小川知事は、梅が見頃を迎え、多くの観光客でにぎわう太宰府市を訪れました。



太宰府市

平成29年2月16日



日本最古といわれる国宝の梵鐘を鳴らす知事。菅原道真も聴いた鐘の音が響いた



天智天皇の発願によって建てられた観世音寺は数多くの文化財が残る国指定史跡

九州国立博物館



国内4番目の国立博物館として平成17年に開館。開館以来の来館者数は1400万人を超える



館内案内や展示解説を行うボランティアや「九州国立博物館を愛する会」など、多くの人たちの支えが同館の盛り上がりにつながっている

国分アンビシャス広場



子どもたちの居場所づくりとして県内各地に開設されているアンビシャス広場。今回訪れた国分アンビシャス広場では多くの子どもたちが「和ごま」遊びに夢中になっている



広場のスタッフの皆さんと懇談。知事は「広場の運営を支えるボランティアの皆さんには心から感謝します」とお礼を述べた

地域活性化複合施設「太宰府館」



太宰府館では木うその絵付けなどの体験プログラムや太宰府観光の情報収集が可能



太宰府天満宮の「鳥替え神事」で用いられる「木うそ」。これまでの悪いことを「嘘」にして今年の吉に取り替えるなどの意味がある



太宰府名物の梅ヶ枝餅づくりも体験。自分で焼いた出来立ての餅は味も格別

団体紹介



公益財団法人
古都大宰府保存協会
大宰府史跡解説員

太宰府の歴史や文化財に精通する史跡解説ボランティア。63人のメンバーが、史跡案内や解説を通して古都大宰府のPRや史跡保存への理解促進に貢献している。市内の史跡や文化財の整備・保存・維持管理、広報普及事業を行う古都大宰府保存協会から委嘱を受けて活動



「まちを歩く大勢の観光客の姿を拝見し、大変心強く感じた。皆さんと力を合わせて地域の強みに磨きをかけてい」と知事



「太宰府水から川る会」代表の大隈和子さん。御笠川を以前のような豊かな川として甦らせようと、河川の清掃活動や自然観察会などを行う



「ほっこり太宰府倶楽部」代表の青柳宏征さん。太宰府の歴史や行事を取り入れたイベント「ほっこりさいふ詣り」を開催。地域を盛り上げている



「協働わーくす エ・コラボ」代表の田畑薫さん。障害のある人の働く場を太宰府につくるため、資源ごみの回収リサイクル活動などを行う



「大宰府万葉会」代表の松尾セイ子さん。万葉集の読み方を学ぶ講座や、市内の歌碑巡り、万葉衣装をまとった歌会などを行う



県立福岡農業高等学校食品科学科の古賀薫未さん。企業と連携し、太宰府市産の梅を活用した商品を多数開発する梅研究班の班長として活躍

地域で
頑張る皆さん

対話

小川知事

海外での学びを 地域に生かそう！

福岡県グローバル青年の翼 (グローバル&ローカル・リーダーシップ・プログラム)

「ふくおか未来人財育成ビジョン」を掲げ、青少年の人材育成に取り組む福岡県。今回は、「グローバル化の進展に対応するため、国際的な視野を持ち、職場地域などで中核的存在として活躍できる人材」を育成する国内・海外研修プログラム「福岡県グローバル青年の翼」事業を紹介します。

個別のテーマを持って 臨んだ国内・海外研修

福岡県では平成10年から、活力あふれるアジアに青年を派遣する研修プログラムに取り組んできました。平成28年度からは国内・海外の研修内容をさらに充実させ、「福岡県グローバル青年の翼」を実施しており、今年度は学生14人、社会人8人の計22人が参加しました。

国内研修では、郷土の歴史や海外から見た福岡の魅力と課題などについて学ぶとともに、参加者はテーマごとに

「人材育成・教育」「観光・インバウンド」「食・フードビジネス」の3チームに分かれ、企業などを訪問するフィールドワークを体験しました。

海外研修では、ミャンマーとマレーシアの2カ国を訪問、テーマに沿った視察を実施。帰国後の研修では、海外研修のレビューと成果発表を行いました。



「学生と社会人、どちらにとっても、内容の濃いプログラムにしました。これからもこの質を維持、向上させたいですね」と青少年育成課の渡邊伸也事務主査



OISCAミャンマー研修センターでの農業体験



さまざまな商品が並び活気にあふれるミャンマーのローカル市場

マレーシアのハラル産業開発公社にて、ハラルに関する課題や取り組みについて学んだ

世界を知ることが、 自分たちの国・地域を 見つめ直すことにつながる



マレーシアの華人系小学校(華人系・インド系・マレー系の児童が通う)では、熱烈な歓迎を受けた。現地の子どもたちと触れ合う貴重な体験

ミャンマーでは、日本の国際NGO組織「公益財団法人OISCA」の研

修センターを訪問。「厳しい共同生活を送りながら、日本の農業技術を学んで祖国に貢献しようとする若者たちのエネルギーに触れ、大きな刺激になった」との感想がありました。

多民族国家であるマレーシアでは、子どもたちが小学校で多様性を理解し、受容するための取り組みを視察し、「日本の教育に求められているものを探る」と題したレポートを発表しました。また、「ハラル産業開発公社」や日系企業の視察を通して、「ムスリム(イスラム教徒)は、ハラル(※)に対応した飲食店しか利用できないことなどについて考察。各チームからは、「日本企業がマレーシアなどの多民族国家で外食

事業を展開するためには、その国を理解して顧客のニーズを捉え、ブランド力を高める戦略が必要」、「イスラム教徒に対応したサービスの提供は、ラグビーワールドカップ2019などを控えた福岡にとっても大変重要」との報告がありました。

「研修で学んだことを地域にどう生かしていくのか」にまで踏み込んだ報告は、参加した青年たちの確かな成長とともに、これからの活躍を大いに期待させるものでした。

Q. 参加した経験を、今後、どう生かしていきたいですか？

参加者の声

MY VOICE

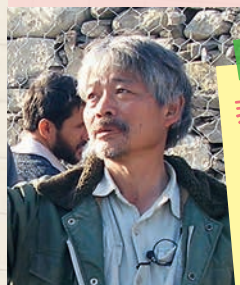
(写真右から) 中村学園大学 安永麻紀さん、西日本鉄道株式会社 小柳賢史さん

福岡の魅力をもっと世界へ

福岡のグローバル化に対応できる食環境作りに貢献

先輩が教える 未来づくり

このコーナーでは、国際的な視野を持って、地域で活躍する福岡県出身の先輩から、子どもたちに向けてのエールを掲載します。



今回の先輩
非政府組織「ペシャワール会」
現地代表
なかむらつ
中村哲さん
(福岡市出身)

アフガニスタンで医療活動や灌漑事業などの人道支援を続けている中村哲さん。「私たちの納得する支援と本当に現地に必要な支援との間には往々にして開きがあります。その地に合う方法を見つけること、相手の文化や習慣を尊重し、『日本人の常識』を押し付けないことが重要。これからのリーダーには、多様性を受け入れ、自分の持つ偏見や先入観を相対化できる能力が求められます。違いを見つけ優劣を比べるより、共通点を見つけて和する態度です。平和に共存することこそが豊かさにつながり、次世代の最大のテーマだと思います。それぞれが置かれた場所で、力を尽くされることを祈ります」。

ふくおか未来人財 育成ビジョン

福岡県が策定したこのビジョンは、「学力、体力、豊かな心」、「社会にはばたく力」、「郷土と日本、そして世界を知る力」を育むための青少年育成策の方向を示しています。「郷土と日本、そして世界を知る力」を身に付けるためには、郷土や日本の歴史、文化、世界の歴史などを学び、「世界の中の日本」を十分に自覚し、多様性を認め合いながら、さまざまな課題に柔軟に対応する力を身に付けることが必要になります。



ひろ
かわ
まち
広川町

美しい匠の技。
伝統と人が織りなすまち

久留米^{かすり}紘(国指定・重要無形文化財)

経糸と緯糸の紘を合わせて、緻密に織り上げられてゆく久留米紘。200年の歳月を重ねて高い評価を得られるまでに成長したその技術は、広川町に残る13軒の織元で現在でも継承されている



■ 弘化谷古墳 (国指定史跡)
国指定史跡の「石人山古墳」と共に八女古墳群に属し、丘陵を歩いて古墳巡りが楽しめる。隣接する「広川町古墳公園資料館(こふんピア広川)」は入場無料



■ 太原のイチョウ
昭和58年の町制施行30周年を記念し、町の木として制定されたシンボルツリー。黄金色に輝く秋の絶景を一目見ようと多くの人が訪れ、話題を集めている



■ 逆瀬ゴットン館
県内最大級の直径7mの水車がシンボル。その動力を使って作られた地元の米やそば粉の販売のほか、手打ちそばも味わえる。秋には「新そば祭り」を開催



■ 里の駅 広川くだもの村
地域の生産者が育てた、イチゴやブドウなどの町の特産フルーツや農作物を取り扱う直売所。秋にはスローフードフェスタ「秋の収穫祭」が人気



■ 広川サービスエリア
インターチェンジに併設されており、高速道路利用者以外も立ち寄ることができる。24時間営業のフードコートや旬のフルーツを販売するコーナーもある



■ 小椎尾地区の段々畑
筑後川の支流、町名の由来ともなった広川の上流にある小椎尾地区。寒暖の差を利用した茶葉の栽培が盛んで、山の谷あいにはのどかな段々畑の風景が広がる

■ イチゴ狩り体験
フルーツのまち・広川でイチゴは一番人気の特産物。「里の駅 広川くだもの村」では1月から4月まで、「あまおう」をはじめ、5種類のイチゴ狩りが楽しめる



■ 奥八女茶
寒暖差のある山里で栽培される奥八女茶は、色濃く風味がまろやかで格別と評価が高い。製造・販売を営む「茶の葉堂」などでは、振る舞い茶が味わえる

■ ガーベラ
西日本一のガーベラ生産量を誇る広川町では、約160品種がハウスで通年栽培されている。毎年4月、広川サービスエリアでは「広川の日 ガーベラ祭」が開催される



■ 広川町産業展示会館 (ひろかわ藍彩市場)
久留米絨や竹細工などの伝統工芸品を中心に、地域の特産物を展示・販売。毎年9月には九州最大級の絨の催し「広川かすり祭」が開催され、会場はひときわ華やぐ



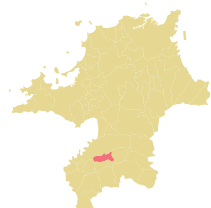
■ 八女すだれ
竹の産地である八女の特産工芸品として、明治時代から竹ひごを使った伝統技法で作られ続けている。平成26年、福岡県知事指定特産工芸品に指定



■ 竜光寺公園
季節の木々を眺めながら、池の周りの散歩などが楽しめる。春は桜の名所としても知られ、園内には木製アスレチック、ジョギングコースもある

活力で育む、
フルーツと工芸の里

■ 問い合わせ
広川町役場
八女郡広川町大字新代1804-1
☎0943-32-1111 (代表)
ファクス0943-32-5164 (代表)
<http://www.town.hirokawa.fukuoka.jp/>



ボランティアによる高齢者への買い物支援

町民が主役のまちづくり
広川町では、地域の課題解決のため、地域に住む一人一人が主役となる地域コミュニティ推進事業を進めています。「地域でできることは地域で」を将来像として掲げ、いつまでもこの地で暮らしたいと思える地域づくりを住民自らの手で進めています。

ご当地キャラ紹介

広川まち子ちゃん
久留米絨の着物とイチゴの「あまおう」を付けたベレー帽をかぶるオシャレな女の子

福岡県の南西部に位置し、東と南は八女市、北は久留米市に大きく隣接している広川町。九州自動車道の広川インターチェンジも有しており、交通の便にも恵まれています。
自然豊かな大地の恵みを受け、イチゴ・ブドウ・ナシ・モモ・茶などの栽培が有名。近年は、ガーベラ、電照菊などの花卉栽培も盛んです。
また、久留米絨や竹細工などの特産品も伝統工芸として連綿と受け継がれており、こうしたふるさとの宝を次世代へと継承しながら、魅力あるまちづくりが進められています。



「久留米餅は木綿100%の肌触りや、素朴でいて精巧な柄の美しさが魅力です」と代表理事の富久公博さん



毎年9月に開催される「広川かすり祭」。特売会やファッションショー、工房巡りなどが楽しめるとあって、全国から久留米餅のファンが訪れ、リピーターも多い



久留米餅の餅の柄を生み出す上で肝となる「くくり」作業。今では紡績会社から仕入れた生糸を白い糸に仕上げている「精練」作業も組合の工場で行っている

久留米餅広川町協同組合

手仕事の技、地域の宝を未来へ紡いで

久留米餅の伝統の継承と発展を目的に、町内の織元と問屋によつて昭和29年に発足した「久留米餅広川町協同組合」。現在、組合員は14人です。

久留米餅は、図案から最終仕上げまで細かいものを含めると約40もの工程があり、昔は織元だけではなく「くくり」などの工程は分業者がそれぞれ担っていました。

「餅を製造する上で重要な工程を担う分業者の高齢化が近年課題となっており、分業者の大きな負担にならない方法を町と一緒に探しています。図案師が担っていた餅の図案作成は、3年前から久留米工業高等専門学校が開発したソフトでパソコンを使うことができるようになりました」と代表理事の富久公博さん。作り手と町とが連携し、2000余年継承されてきた伝統工芸を絶やさないよう努めています。



「広川まち子ちゃん」は、町内の子どもたちにも大人気



町の特産「あまおう」を生地とクリームに練り込んだ甘酸っぱいスイーツ「初恋ぶっせ」。発売して6年目、1万5千個を売り上げた年も



和気あいあいとした雰囲気の中、広川町商工会青年部の皆さんと「広川まち子ちゃん」

広川町商工会青年部

異業種のアイデアを生かしながら地域の発展に貢献

地域経済団体の青年部門として昭和45年に設立された「広川町商工会青年部」。45歳までの経営者や後継者を中心に、52人のメンバーが、町おこしなどの企画運営に携わっています。

これまでに、町の公認キャラクターである「広川まち子ちゃん」の誕生や、まちおこしスイーツ「初恋ぶっせ」の商品開発など、多彩なアイデアを実現。また、空き缶のプルトップ集めを呼びかけ、車いすを寄付したり、東北や熊本震災チャリティーを自主企画するなど、多岐にわたり活躍しています。

「町の発展につなげるため異業種の間と交流し、アイデアを出し合っています。その経験は自分たちの仕事にも役立ちます」と、部長の久保田健太郎さんは語ります。地域との関わりを大切に、広く学びながら、町の活性化に貢献しています。



特産の「あまおう」を使って一つ一つ丹精込めて手作りされるイチゴ大福。正月前には黒豆やコンニャクなども販売



人気のごぼうコロケは、直売所や地域のイベントで販売するたびに、毎回900個ほどが売り切れる



女性農村アドバイザーで構成される「つくし会」の皆さん。代表の渡邊悦子さん(写真前列中央)。「根強く、すくすく伸びて、人に、地域に尽くす」がモットー

つくし会

地域を元気に食で盛り上げる「まちのお母さん」

地域の活性化や女性の社会参画などに取り組んできた町内の女性農村アドバイザー8人が、地域おこしのため、平成22年に結成した「つくし会」。

「町の特産品の『あまおう』を使って手作りした、イチゴ大福が『いちごまつり』などで大当たりしたのが始まりです。その後、生ごぼうの食感を生かした『ごぼうコロケ』を思いつき、毎月1回農協の農産物直売所で揚げたてを店頭販売したところ、とても好評で行列ができるほどになりました」と代表の渡邊悦子さんは笑顔で語ります。

明るく活発、料理上手なつくし会の評判は広がり、福岡県留学生会を招いた交流会での大福づくりや、知事公舎で手料理を振る舞うなど、活動は町外へも広がりました。「まちのお母さん」の役割を楽しみながら、地域を元気に盛り上げています。



部長の平城重知さんは、夢だった農家に5年前新規参入し、イチゴを栽培している



近隣地区の青年部とソフトボールなどのスポーツ大会で親交を深め、地域を盛り上げていく



地域の小学生を対象とした稲刈り体験を実施。「農業の面白さを知って、興味を持ってほしい」と平城さん

J A ふうおか八女青年部 広川地区

農業の啓発と食育活動で地域を照らしたい

平成9年に結成された「J A ふうおか八女青年部 広川地区」は、地域農業の発展を目的に、45歳以下の若手農業者43人によって運営されています。地域の小学校3校の5年生に田植えや稲刈りを体験してもらい、収穫したお米をプレゼントするという食育活動に取り組んでいます。

「自分の手で植えたお米を収穫することで、食べ物を作る大変さ、素晴らしいさを感じてもらえたらうれしい。2年前からは特別支援学校の生徒たちとの田植えもスタートしており、これからも継続していきたい」と部長の平城重知さん。

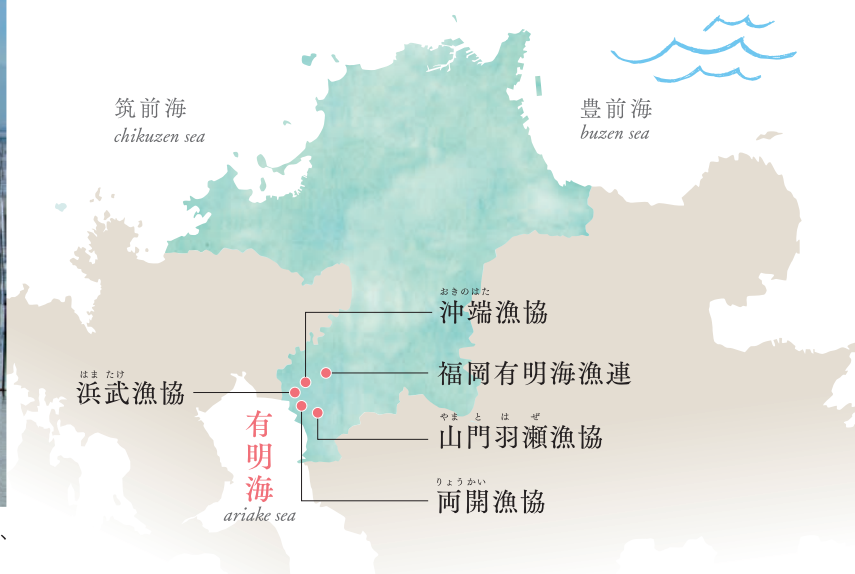
地元で開かれたJ A主催の祭りでは、企画にも携わり、自らも出店しました。地域の人たちに農業の面白さ、大切さを伝えながら、地域に根付いた活動を進めています。

有明海

豊穰の海

干満差の大きな干潟の有明海。その福岡県沿岸は筑後川や矢部川など多くの川から豊かな栄養分が流れ込み、多様な生物を育む豊穰の海です。秋から春にかけて、ノリ養殖の支柱が立ち並ぶ有明海ならではの風景が現れます。

寒気に満ちる有明海で養殖作業に励むノリ漁師



真冬の夜、海を歩き交うノリ養殖の明かり

ノリの収穫は、主に夜行われます。矢部川河口の江浦漁港を出港した須崎孝義さんの船は、養殖場に到着すると、漁船から降ろした「箱船」と呼ばれる作業船で、ノリを摘み取っていきます。いよいよはつやつやしてトロトロと滑らか。箱船の中で揺らめきます。手元を照らすのは親船に灯る明かりと、2人の頭に光るヘッドライトのみ。ふと目を上げると、作業する船のたくさん、明かりが、暗い海のはるか遠くまで満天の星と競い合うように瞬いています。冬の有明海はまさにノリ養殖の最盛期です。

ノリ養殖は毎年9月から漁場に支柱を立てることから始まります。須崎さ



縦21cm、横19cmの全国统一規格に加工。乾燥後は一束100枚に結束され品質検査へ。色、つや、重さ、香り、味のチェックを受けて入札する

収穫したノリは漁港からすぐに加工場に運び、ごみを取り除いて細かく刻み、真水で洗い、薄く漉して乾燥させます。ノリは細胞が小さい方が上質の製品に仕上がります。また、ノリは昼間に成長し、夜に細胞が細かく分裂するため、収穫は夜に行います。

種付けから収穫、加工まで自然を相手に臨機応変に

一方で、昼間の作業も重要です。有明海の大さな干満差を生かした支柱式



山門羽瀬漁協所属の須崎孝義さん(写真右)と、兄の克美さん。孝義さんは現在福岡県の若手ノリ漁師で構成される福岡県有明海区研究連合会で会長を務める

養殖の特徴は、潮が引いたときに網が海面から上がる。日光と冷たい風に当てしつかり干すことで、やわらかく味の良いノリに育ちます。「気象・海況などによって日々変わるノリの様子を見ながら、臨機応変に網の高さを調節するのが漁師の腕の見せ所」と須崎さんは話します。

「有明海で生産された焼きのりは、黒くてつやがあり、パリッと歯切れが良く口溶けも良い。特に「一番摘み」(初摘み)のノリを一度は食べてほしい」。熟練の技術とためめ努力により生産されたノリは「福岡有明のり」の名で販売されています。



福岡県有明海漁業協同組合連合会
☎0944-73-6166
ファクス0944-72-6161

写真・古谷千佳子(ふるやちかこ)
東京生まれ、海人(うみびと)に惹かれ20年前に沖縄へ移住。潜水漁業など海の仕事について後、写真家へ。2007年毎日放送「情熱大陸」で海人写真家として紹介される。2010年より全国に点在する海女の撮影を開始。海辺の暮らし、仕事の中に見えるさまざまな原点を撮り続ける。

ノリ養殖のための支柱や支柱が連なる風景は「海苔ひび」と呼ばれ、俳句では春の季語。独特の幾何学模様が詩心を刺激する

有明海のガザミは味の濃いかもんね



有明海ガザミ育成会 会長 堤幸夫さん(写真右)、妻・祐子さん

同会には約10隻の船が所属。「十数年、漁獲量は安定している」と言う。おすすめの食べ方は、ホットプレートでの蒸し焼きだそうだ

3〜10月にかけて有明海はガザミ漁で活気づきます。「有明海ガザミ育成会」では、春先はサンマを餌にしたカゴ漁その後、さし網漁に移ります。「栄養豊富な有明海のカザミは甘さが違う」と堤幸夫会長。育成会では、稚ガニの放流のほか、体長12センチメートル以下と産卵直前のメス、秋に脱皮したメスも捕獲しないなどの取り決めをし、豊かな海づくりに力を注いでいます。



「3〜5月はメス、6〜10月はオスがおいしい」と話す堤さん。仕掛けたさし網は翌日に揚げる



資源を守り育て 良質ガザミを届ける ガザミ(ワタリガニ)漁

有明海ガザミ育成会



アサリ 有明海のアサリは、殻が薄く、身がずっしり。旬の春と秋には身が詰まり、うま味も増す

着実に成果は上がっています

料理の幅が広がりますよー！

福岡有明海漁業協同組合連合会 境真秋さん(写真右)、西田裕一さん

19の漁協が所属する連合会。資源保護のほか競争入札制度である共販を導入し、アサリの価格安定にも努めている



沖端漁業協同組合 代表理事組合長 朱牟田新作さん 「生ノリを手軽にどうぞ。天然のうま味成分や、さまざまな栄養素を豊富に含んでいます」

生ノリから作る おふくろの味 ノリ佃煮
「ノリ漁師が家庭で作る、食べ飽きない味を再現しています」と話すのは、浜武漁協 女性部部長の梶島秀子さん。ノリ佃煮の多くは、乾燥させた板ノリを煮溶かして作られますが、こちらでは風味・食感共に良い生ノリだけを使用しています。専用釜で約3時間かけてじっくりと煮詰める佃煮は、優しい海の香りが広がります。



生ノリ佃煮は明太子入りや梅肉入りなど6種類がそろう



その日の気温や湿度によって生ノリと調味料のバランスを調整し、出来上がりを均一に仕上げる



浜武漁業協同組合 女性部 部長の梶島秀子さん(写真中央)、古賀トモ子さん(同左)、荒巻美都恵さん

「一年を通して安定した味わいになるよう、取れたての生ノリはマイナス20度で保存しています」と話す梶島さん

愛情込めて手作りしてあげよう！

● 浜武漁業協同組合
☎0944-72-5351
ファクス0944-72-1704

ノリの可能性を広げる新商品 有明海(福岡県産)湯掻きお刺身海苔
「生ノリ本来のおいしさを広く届けた」という思いから、昨年8月に誕生した「有明海(福岡県産)湯掻きお刺身海苔」。産学官が連携し、試作を重ねること約3年。生ノリを加工する工程に工夫を凝らすことで、生のうま味と鮮度を保つことに成功しました。刺し身や吸い物、パスタなど、幅広い料理に活用できると注目を浴びています。



鮮度が落ちるのが早いので、地元漁師の間でしか味わえなかった生ノリ

産学官連携

● 沖端漁業協同組合
☎0944-72-5134

海の環境を整え アサリを増やす アサリの資源管理
アサリは有明海を代表する魚介類の一つです。県では、漁場に砂をまいてアサリの発生を促す取り組みを行ってきました。一昨年、砂をまいた漁場を中心にアサリの稚貝が大量に発生。福岡有明海漁連と関係機関が連携し、保護区の設定や稚貝の移植を行った結果、多くの稚貝が成長。関係者は資源回復に確かな手応えを感じています。



アサリ取りの道具「じょれん」



稚貝の成長を良くするため、密度が高い漁場から他の漁場へ移植・放流する



自慢の味・観光スポットご紹介

● 両開漁協の「白秋の古里」高級有明のり佃煮

全国各地にリピーターが多い漁協オリジナルの佃煮は、組合員が取った生ノリが原料です。衛生管理が行き届いた加工場では、生ノリの味わいを引き出すよう地元の醤油などを使い、丹精込めて作られます。県内の学校給食にも出され、毎年12月に開催される「新しいフェア」では飛ぶように売れる商品です。



● 両開漁業協同組合
☎0944-72-7141
ファクス0944-72-1567



佃煮は3種類。よりやわらかく風味の良い一番摘み生ノリを使用した佃煮(右)は期間限定商品

● 有明海ツーリズム 体験メニュー

雄大な自然の中で「むつごろう釣り」や伝統漁法の「くもで網漁」体験ができます。ムツゴロウは、干潮時にルアー釣りの要領で引つけて岸から釣ります。くもで網漁は潮が満ちてから、海の上に立っているやぐらから海に網を沈め、しばらくして網を上げると有明海の幸が掛かります。期間は4〜10月、要予約。



「むつごろう釣り」(写真左)と「くもで網漁」。取った魚は市内の料理店で味わうこともできる

● 柳川むつごろう会(柳川市学童農園むつごろうランド)
☎0944-72-0819

2月

- 球技専用スタジアム「ニクニワールドスタジアム北九州」がJR小倉駅前にオープン

1月

- 福岡県・米国ハワイ州姉妹提携締結35周年記念訪問団を派遣

12月

- 「子育て応援宣言企業」が6000社を突破

- **大隅良典東京工業大学栄誉教授が本県出身者として初めてノーベル賞を受賞**

- 「筑後広域公園プール」が完成、室内プールがオープン

- **「博多祇園山笠行事」「戸畑祇園大山笠行事」がユネスコ無形文化遺産に登録**

- 本県出身の森田浩介九州大学教授が統括する研究チームが発見した113番元素名が「ニホニウム」に決定

- 福岡有明海産の「ノリ」の新名称を「福岡有明のり」に決定

- 英国ウエールズ代表がラグビーワールドカップ2019の事前キャンプ地を北九州市に決定

- 県が開発したキウイフルーツ新品種「甘うい」の販売を開始

- 「海外福岡県人会世界大会」が開催（メキシコ市）

- J・R博多駅前の道路が陥没

- アジア初の「世界獣医師会・世界医師会」One Healthに関する国際会議が北九州市で開催

10月

- ノルウェーが2020東京オリンピックの事前キャンプ地を福岡市に決定

- 「観光王国九州とともに輝く福岡県観光振興条例」の制定

- 「海外福岡県人会世界大会」が開催（メキシコ市）

8月

- タイ国政府と環境協力協定を締結

- **リオオリンピック・パラリンピックで坂井聖人選手と道下美里選手が銀メダル獲得**

- ユニ・チャームプロダクツ株式会社に県の新松山臨海工業団地（刈田町）を初分譲

7月

- 「全国知事会議」を本県で初めて開催

- 「ふくおかよかとこ移住相談センター」を東京と福岡に開設

- 全国初の「18歳選挙」がうきは市で実施

- 「LGBTの方のDV被害者相談ホットライン」を設置

- 都道府県初

- 「九州ふっこう割」の販売を開始

- 「救急電話相談事業（#7119）」を開始

- 「食品ロス削減県民運動」を開始

- 「ライオンスクラブ国際大会総会」が九州で初めて開催

- 県庁に「まごころ製品」のショップ&デスクを開設

6月

- 「子ども支援オフィス」を県内4カ所に開設

- 「ウーマンワークカフェ北九州」を開設

- 「G7北九州エネルギー大臣会合」が開催

- 東九州自動車道が県内区間全線開通

4月

- 県庁の組織を再編
人づくり・県民生活部、観光局、女性活躍推進室などを設置

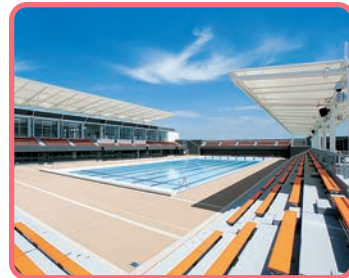
- **熊本地震発生、復興に向け全力で支援**



九州ふっこう割



子育て応援宣言企業6000社大会



「筑後広域公園プール」が完成



キウイフルーツ新品種「甘うい」



“One Health”に関する国際会議



「まごころ製品」ショップ&デスク



「G7北九州エネルギー大臣会合」が開催



東九州自動車道が県内区間全線開通



©EPA=時事

本県出身者初のノーベル賞受賞

平成28年12月10日（現地時間）、スウェーデン・ストックホルムでノーベル賞授賞式が開催され、「オートファジーの仕組みの解明」に寄与したとして、大隅良典東京工業大学栄誉教授が生理学・医学賞を受賞しました。県では、本県出身者初の快挙となる偉大な功績を称え、スポーツ分野以外では初めてとなる「県民栄誉賞」の授与を決定しました。



本県初!ユネスコ無形文化遺産誕生

福岡市の「博多祇園山笠行事」（写真左）、北九州市の「戸畑祇園大山笠行事」（写真右）を含む、全国33の「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。祭りを通じて豊かな文化が継承され、地域が強い絆で結ばれてきたことが評価されたものです。今後も関係者の皆さまと一緒に祭りを次世代に伝えていくとともに、その魅力を国内外へ発信していきます。



坂井選手、道下選手、銀メダルおめでとう!

日本選手の活躍に日本中が歓喜に沸いたりオデジャネイロオリンピック・パラリンピック。本県ゆかりの坂井聖人選手（写真左）と道下美里選手（写真右）は、それぞれ競泳男子200メートルバタフライと女子マラソン（視覚障害）で、見事に銀メダルを獲得しました。県では、両選手に「県民スポーツ栄誉賞」を授与しました。



熊本地震からの復興に息の長い支援を

平成28年4月に発生した熊本地震。県では発生直後から、警察や救急消防隊、職員の派遣、住宅支援や被災者の受け入れ、支援物資の提供などさまざまな支援を行いました。また、九州各県が協力して、九州内の宿泊施設や旅行商品が割引になる「九州ふっこう割」を販売。今後も、九州一体となって息の長い支援を行っていきます。

調査特別委員会

調査特別委員会は、特定の案件を審査または調査するため、必要に応じて設置されます。本県議会では、現在6つの調査特別委員会が設置されています。今回は次の4つの委員会を紹介いたします。

生涯健康安心社会調査特別委員会

【委員会の開催状況】

平成29年1月31日に開催した委員会では、「認知症対策の取組状況について」、「自殺の現状と自殺防止対策の取組状況について」、「高齢者の住まいに関する取組状況について」を議題として質疑を行いました。

【視察・調査の状況】

平成28年11月21日から22日にかけて、独立行政法人国立病院機構九州がんセンター（福岡市）、福岡県馬術競技場（古賀市）、北九州市認知症支援・介護予防センター（北九州市）、日の里団地（宗像市）を視察しました。そのほか、当委員会の案件に係る視察・調査を随時行っています。

住・ひと・しごと創生調査特別委員会

【委員会の開催状況】

平成29年2月1日に開催した委員会では、「福岡地区・筑後地区の特性を踏まえた産業振興について」、「市町村と連携した地方創生の推進について」を議題として質疑を行いました。

【視察・調査の状況】

平成28年8月17日から19日にかけて、北海道渡島総合振興局、函館市国際水産・海洋総合研究センター（以上北海道）、岩手県議会、オガールプラザ、株式会社岩鏑（以上岩手県）を視察しました。そのほか、当委員会の案件に係る視察・調査を随時行っています。



九州がんセンター（福岡市）を視察（平成28年11月21日）



岩手県議会を視察（平成28年8月19日）

広域行政推進対策調査特別委員会

【委員会の開催状況】

平成29年2月1日に開催した委員会では、「平成28年地方分権改革に関する提案募集について」、「平成29年度観光関係政府予算概要について」、「フィンランド受入環境（宿泊施設及びレンタカー利用の状況）について」を議題として質疑を行いました。

【視察・調査の状況】

平成28年8月17日から19日にかけて、国立大学法人帯広畜産大学、帯広市役所（フードパレーとかち）、北海道釧路総合振興局、北海道立北方四島交流センター「ニ・ホ・ロ」（以上北海道）を視察しました。そのほか、当委員会の案件に係る視察・調査を随時行っています。

スポーツ振興・国際交流推進調査特別委員会

【委員会の開催状況】

平成29年1月27日に開催した委員会では、「福岡県外国公館等について」、「平成29年度九州国立博物館の特別展について」を議題として質疑を行いました。

【視察・調査の状況】

平成29年1月30日から2月1日にかけて、北海道議会、札幌ドーム、洞爺湖観光情報センター（NPO法人洞爺にぎわいネットワーク）、道の駅そらべつ情報館（壮瞥町観光課）（以上北海道）を視察しました。そのほか、当委員会の案件に係る視察・調査を随時行っています。



帯広畜産大学（北海道）を視察（平成28年8月17日）



北海道議会を視察（平成29年1月30日）

問い合わせ

福岡県議会事務局 調査課 ☎092-643-3832 ファクス092-643-3825

※福岡県議会ホームページでは、本会議情報、委員会情報、議員紹介等の掲載のほか、会議録の検索と閲覧、議会議中継を実施しています。

福岡県議会ホームページ
携帯電話向けサイト

<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/m/>

PC版



携帯電話版





また、現地のショッピングセンターで開催された福岡フェアでは、小川知事らと共に本県の食や伝統文化などの魅力を大いにPRしました。

そのほか、3つの福岡県人会の創立記念式典に参加し、これまでの友好交流にご尽力いただいた皆さんへ感謝の言葉を述べ、交流を深めました。

ハワイ州議会友好訪問

本県議会とハワイ州議会は、昭和57年に国際友好親善促進の盟約を締結して以来、友好交流を続けています。その35周年の節目の年を迎え、平成29年1月17日から24日まで8日間の日程で、中尾議長を団長とする福岡県議会友好訪問団が小川洋知事ならびに経済団体などの皆さんと共に、米国ハワイ州を訪問しました。

ハワイ州知事公邸で行われた姉妹提携35周年記念式典では、国際友好親善促進の盟約確認の署名が行われ、今後のさらなる交流の深化を確認しました。

ハワイ州議会友好訪問

県議会の動き

県議会の最近の取り組みについて、その一部を紹介します。

福岡県「まごころ製品」販売会

12月定例会開会日の平成28年12月1日、障害者週間(12月3日～9日)の気運を盛り上げるため、障害者の皆さんが作った「まごころ製品」の販売会が議会棟1階の玄関ホールで開催されました。

当日は、県内各地から18施設が出店し、食品や木工品、アクセサリーなどを販売しました。

中尾正幸議長や佐々木徹副議長をはじめ、多くの議員が販売ブースを訪れ、施設の皆さんを激励するとともに「まごころ製品」を購入しました。

また、平成29年1月11日から15日までの5日間、「第4回福岡県「まごころ製品」大規模販売会」が福岡市内の百貨店で開催され、オープニングセレモニーに出席した佐々木副議長は「今後も、障害者の皆さんの福祉の充実や収入の向上に努めてまいります」と議長祝辞を代読しました。

会場では、全国の障害者施設からよりすぐりの逸品を取り揃え、約1200品目、約5万点が販売されました。



会場では、全国の障害者施設からよりすぐりの逸品を取り揃え、約1200品目、約5万点が販売されました。

「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録記念式典

福岡市の博多祇園山笠行事、北九州市の戸畑祇園大山笠行事を含む、全国33の「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを受け、平成28年12月18日に太宰府市の九州国立博物館で登録記念式典が行われました。

式典には、中尾議長、佐々木副議長をはじめ、関係常任委員会委員長や両行事の地元選出の議員が出席し、関係者の皆さんと共に登録を祝いました。



会場では、戸畑祇園大山笠振興会の皆さんが提灯大山笠を一気に組み立てる「五段上げ」を、博多祇園山笠振興会の皆さんが「博多祝い唄(祝いめでた)」を、それぞれ披露したほか、両山笠の展示やパネルによる紹介などが行われました。

九州各県議会議員交流セミナー

平成29年1月30日、平成28年度九州各県議会議員交流セミナーが鹿児島市で開催され、本県議会から23人の議員が参加しました。

本セミナーは、九州の県議会議員が一堂に会し、共通する政策課題などについて情報および意見交換を行うことにより、政策提案能力その他議会機能の充実を図るとともに、議員間の親睦を深め、共に九州の一体的な発展と地方主権の確立を目指すものです。

今回は、鹿児島県長島町の井上貴至副町長による「地域づくりは楽しい!」、総務省消防庁消防大学校



客員教授日野宗門氏による「行政の災害対応と課題」の講演のほか、熊本県議会増永慎一郎議員による「平成28年熊本地震発生後の対応について」の事例発表が行われ、九州各県から参加した約170人の聴講者は講師の話に熱心に耳を傾けていました。

全国都道府県議会議長会

平成29年1月20日、第156回全国都道府県議会議長会定例会総会が東京都で開催され、本県議会から佐々木副議長が出席しました。

本会は地方が抱える切実な課題などについて議長会独自に、また全国知事会などと共に地方六団体として政府に要請を行うほか、各都道府県議会発展のため、調査・研究などを行っています。

総会では、参議院議員選挙制度の抜本的見直しを求める決議(案)や本会の活動に係る平成29年度予算(案)が審議され、原案のとおり決定されました。また、「平成29年度地方財政対策について」と題し、総務省自治財政局長の黒田武一郎氏による講演が行われたほか、政務活動費の透明性の向上に関する決議についてなどの報告がありました。



九州観光振興議員連盟設立総会・九州観光振興大会

平成29年2月10日、九州観光振興議員連盟設立総会および九州観光振興大会が大分県で開催され、本県議会から福岡県観光産業振興議員連盟の田中久也会長をはじめ10人の議員が出席しました。

九州観光振興議員連盟は、九州各県議会の関係議員が、県境の枠にとらわれないことなく緊密に連携し、九州全体の広域的な観光振興の推進に寄与することを目的に設立されたもので、設立総会では設置要領や役員選出、



平成28年度事業計画などについて協議を行い、原案のとおり決定されました。

また、「九州はひとつ」の理念のもと、九州が一体となった観光産業の振興に寄与することを目的に開催された九州観光振興大会では、九州運輸局長などによる講演や一般社団法人九州観光推進機構による事業説明が行われました。

情報広場

観覧料の割引など詳細については、各施設にお問い合わせください。

九州歴史資料館

企画展「きゅうおにとタイムトラベル -大昔のくらしと国づくり-

「大昔の福岡の人たちは、どんな服を着て、どんな物を食べて暮らしていたんだろう？」そんな歴史の疑問を、マスコットキャラクター「きゅうおに」とタイムトラベルしながら探ります。旅の行き先は縄文～奈良時代。県内の出土資料とイラストでわかりやすく紹介する、子どもから大人まで楽しめる展覧会です。



会期 3月22日(水)～7月30日(日)

観覧時間 9時30分～16時30分(入場は16時まで)

休館日 月曜日 ※ただし7月17日(月・祝)は開館、7月18日(火)は休館

観覧料 無料

交通アクセス

- ◎西鉄天神大牟田線 三国が丘駅下車 徒歩約10分
- ◎九州自動車道筑紫野ICまたは大分自動車道筑後小郡ICから車で約15分

問い合わせ | 九州歴史資料館 小郡市三沢5208-3 ☎0942-75-9575 ファクス0942-75-7834 <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>

九州国立博物館

日タイ修好130周年記念 特別展 「タイ～仏の国の輝き～」

タイは国民の95パーセントが仏教を信仰する仏教国です。本展は、日本とタイの修好130周年の節目に、両国が協力し、総力を結集して開催する展覧会です。タイ王国門外不出の名宝と、えりすぐりの仏教美術の数々を一堂に集め、仏教信仰がタイの文化形成に果たした役割をひもといていきます。



金象 タイ・アコクター 15世紀初頭
チャオサムプラーヤー 国立博物館所蔵

会期 4月11日(火)～6月4日(日)

観覧時間 9時30分～17時(入場は16時30分まで)

休館日 月曜日 ※ただし5月1日(月)は開館

観覧料 一般 1,600円(1,400円)

高大生 1,000円(800円)

小中生 600円(400円)

※()内は前売り、20人以上の団体料金

交通アクセス

- ◎西鉄太宰府線 太宰府駅下車 徒歩約10分
- ◎九州自動車道 太宰府ICまたは筑紫野ICから車で約20分

問い合わせ | 九州国立博物館 太宰府市石坂4-7-2 ☎ハローダイヤル 050-5542-8600 ファクス092-929-3276 <http://www.kyuhaku.jp/>

福岡県立美術館

POWER OF PRINCESS 「ディズニープリンセスとアナと雪の女王展」

ディズニー作品に登場する9人のプリンセスの貴重なアート作品や衣装、その他資料を一堂に展示します。いつの時代も、希望と憧れの女性像として描かれてきたプリンセスたちの“個性と内面に秘めた強さ”に焦点を当て、一人一人の魅力に迫ります。



©Disney

会期 4月14日(金)～6月11日(日)

観覧時間 10時～18時(入場は17時30分まで)

休館日 月曜日 ※ただし5月1日(月)は開館

観覧料 一般 1,500円(1,300円)

高大生 1,200円(1,000円)

4歳～中学生 800円(700円)

※()内は前売り、20人以上の団体料金

※3歳以下無料(ただし、保護者の同伴が必要です)

交通アクセス

- ◎西鉄バス「市民会館前」下車 徒歩約2分、「天神北」下車 徒歩約5分
- ◎福岡市地下鉄空港線 天神駅下車 徒歩約10分
- ◎西鉄天神大牟田線 福岡(天神)駅下車 徒歩約15分

問い合わせ | 福岡県立美術館 福岡市中央区天神5-2-1(須崎公園内) ☎092-715-3551 ファクス092-715-3552 <http://fukuoka-kenbi.jp/>

福岡県からのお知らせ

平成29年度人権啓発指導者セミナー

企業などにおける人権啓発の指導者を養成するためのセミナーを開催します。

参加無料

日時 第1回「企業と人権」……5月18日(木)14時～17時
第2回「同和問題」……7月13日(木)14時～17時
※第3回・第4回・第5回については、お問い合わせください。

対象 企業・個人事業者・団体の職員

会場 クローバープラザ(春日市原町3-1-7)

問い合わせ | 福岡県福祉労働部人権・同和対策局調整課 ☎092-643-3325 ファクス092-643-3326

平成28年12月16日に「部落差別の解消の推進に関する法律」が公布・施行されました。

この法律には、部落差別が今もなお存在するという認識の下、基本的人権を保障する憲法の理念にのっとり、「部落差別は許されない」ということが明記されています。



ヒューマン博士

